

子どものお薬の飲ませ方

薬剤師 吉田 泉

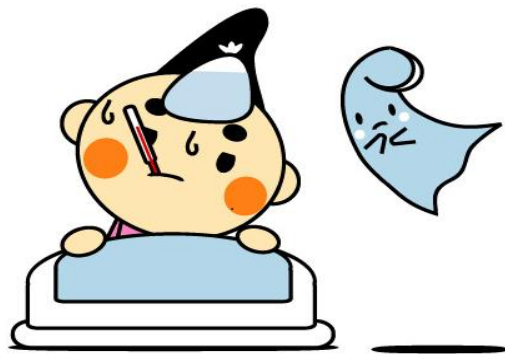
子どもにお薬を飲んでもらうのに苦労されている方が多いのではないのでしょうか？今回は、子どものお薬の飲ませ方について、実際によく質問されたことをいくつか取り上げてお答えしたいと思います。

○粉薬はどうやって飲ませるのですか？

一歳未満の乳児の場合、お薬を少量の湯冷ましで溶かしたものをスプーンやスポイトを使って飲ませるか、哺乳瓶の乳首の穴を少し大きめにしたものを使用して飲ませます。粉薬を少量の湯冷ましでペースト状にしたものを指先に取り、口の中の上あごや頬に塗りつけて、すぐに湯冷ましやジュースを飲ませるのも一つの方法です。このとき、口の中にお薬が残らないようにしてください。そして、お薬を舌に塗りつけたら、たらしたりするのは避けてください。舌は味を感じやすい部分なので、一度、苦い思いをするとすべてのお薬を飲んでもらえなくなるかもしれません。

離乳食や食事が始まった子どもの場合、お薬にガムシロップなどで甘みをつけたり、少量の好きな飲み物に混ぜて飲ませるのもよいでしょう（一歳未満の乳児には乳幼児ボツリヌス症の危険があるので、ハチミツとお薬を混ぜてはいけません）。

ただし、お薬によっては混ぜる飲み物によってお薬の効力が低下したり、かえって



苦味を強めてしまうこともあります。

また、飲み物に混ぜるときはたくさんの量に混ぜてしまうと、飲みきれないことがあるので少量の飲料に混ぜてください。そして、混ぜるときは、必ず飲ませる直前に混ぜてください。

○苦すぎて飲んでもらえません・・・

もともと、飲みやすいようにお薬に味がついていることも多いので、お水で飲ませたほうがすんなり飲んでもらえることもあります。

ただ、苦味などでどうしても飲んでもらえないときは、冷たいほうが苦味などを感じにくくなるので、アイスクリームなどに混ぜるとお薬が飲みやすくなることもあります。

ストローが使えるようであれば、少量の好きな飲み物にお薬を混ぜたものをストローを使い飲ませてもよいでしょう。

また、服薬補助ゼリーなどを利用するのもよいでしょう（服薬補助ゼリーは薬局やドラッグストアなどで購入できます）。

○ヨーグルトやプリンに混ぜてもいいですか？

プリン、ヨーグルト、ジャムなどに混ぜてお薬の存在を隠して飲ませてもよいと思います。チョコレートシロップやチョコレートアイスなどの味の濃いもののほうが、お薬の味がわかりにくくなるようです。子どもの好きな食品、飲料を使ってお薬を飲ませてみてください。ただし、お薬と飲料や食品と混ぜることによって、効力の低下やかえって苦味が強くなったりすることがあります。

よくある質問のほんの一部をとりあげましたが、こうしなければならないということではありませんので、参考にしてください。そして、お薬の飲ませ方や使い方がわからないときは、お薬をもらう時に薬剤師に相談してみてください。

混ぜると飲みやすくなるもの、飲みにくくなるものはお薬によって異なります。そのとき処方されたお薬と混ぜてはいけないものなども薬剤師が教えてくれるはずです。

○大事なこと

なによりも子どもがお薬を飲むことができたなら、大げさなくらい褒めてあげてください。そして、会話ができるようになってからはお薬をのむ必要性を説明してあげてください。

飲ませる方も、飲んでくれないからといって怖い顔をしていませんか？かえって飲んでももらえなくなります。

